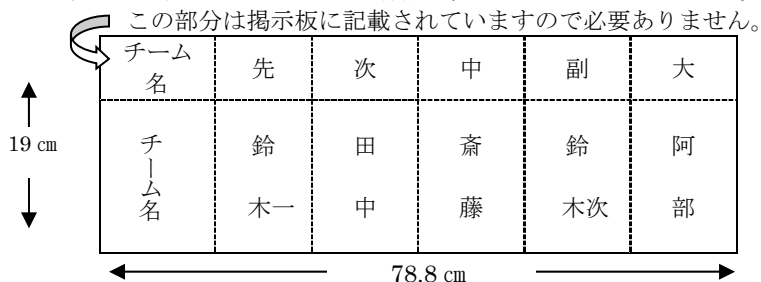


# 第5回東日本少年剣道錬成大会

～ 大震災復旧・復興支援 ～

## 大会要項

- 1 主催 東北剣道連盟 河北新報社
- 2 後援 宮城県教育委員会 (公財)宮城県スポーツ協会 利府町 利府町教育委員会 利府町体育協会  
志波彦神社・鹽竈神社
- 3 主管 宮城県剣道連盟
- 4 ねらい 東日本の少年剣士が一堂に会し、剣道を通して交流と親睦を図り、互いの絆を深める。  
青少年の健全育成並びに大震災の復旧・復興に資する。
- 5 期日 平成30年5月20日(日) 午前9時開会
- 6 会場 宮城県総合運動公園総合体育館 (セキスイハイムスーパーアリーナ)  
宮城県宮城郡利府町菅谷字館 40-1 TEL022-356-1122
- 7 参加資格 (1) 中学生の部 中学校毎男子の部 1チーム、女子の部 1チーム(選手5名、補員2名)とする。  
学校以外の団体の出場は認めない。  
(2) 小学生の部 1チーム(選手5名、補員2名)とし、チームとして編成できない場合に限り、  
その地区の剣道教室、スポーツ少年団からチームを編成することができる。また、編成は男女  
を問わない。
- 8 参加料 1チーム5,000円とし、申し込みと同時に現金書留にて納入すること。受領書は当日受付にて渡す。
- 9 試合方法 (1) 全日本剣道連盟の剣道試合・審判規則・審判細則・運営要領による。  
(2) 試合は中学生の部、小学生の部ともにトーナメント方式とする。  
(3) 試合時間は、中学生の部3分、小学生の部2分とし、勝敗の決しない場合は引き分けとする。  
(4) チームの勝敗は、勝者数・取得本数により決める。同数の場合は代表者戦を行う。代表者戦は  
1本勝負とし、勝敗の決するまで時間を切らず延長戦を行う。
- 10 日程 (1) 受付・開館 8:00～ (3) 開会式 9:00～ (5) 閉会式  
(2) 審判・監督会議 8:30～ (4) 試合
- 11 表彰 優勝チームには優勝旗、優勝杯、ベスト8まで賞状・賞品を贈る。
- 12 申込方法 所定の申込書に記入し、下記宛に送付すること。(中学生の部は学校長の決裁を得ること)  
〒982-0845 仙台市太白区門前町2-1  
宮城県剣道連盟事務局宛 TEL022-746-8461 Fax022-746-8462
- 13 申込期日 **平成30年4月20日(金) 必着**
- 14 その他 (1) 災害・事故の場合、実施本部で応急処置をするが、他の責任は持たない。  
(2) 大会中の事故に対し(大会会場への往復路上は含まれない)、傷害保険に宮城県剣道連盟が加入する。  
(3) 参加選手は、学校名もしくは所属名(横書き)と姓(縦書き)を記した布製の名札を垂に付けること。  
(4) 参加選手は、紅白の目印(全長70cm幅5cm)を持参すること。  
(5) 組み合わせは事務局で行う。  
(6) 選手のオーダー(先・次・中・副・大の位置)の変更は認めない。但し、欠員が生じた場合、  
補員を登録してある場合は欠員の生じた位置に入れることとし、更に補員の補充が可能な場合は、  
監督会議までに届け出て承認を得ることとする。補員を登録していない場合は欠員の生じた  
まま対戦する。  
また、参加申込時に選手・補員を登録できずに新たに選手・補員を登録する場合も、監督会  
議までに届出て承認を得ることとする。補員を選手として使う場合は各試合会場主任に監督  
が申し出ること。  
(7) 当日はサブアリーナも練習会場となります。  
(8) 前年度優勝チームは優勝旗等(優勝旗・カップ)持ち回りを持参して下さい。  
(9) 個人情報は、大会の目的以外に使用しません。  
(10) 竹刀の検量は行わないので、規定に則った適正な竹刀を使用すること。  
(11) 参加団体は、下記に従ってオーダー表を作成し、当日受付に提出すること。



# 第5回東日本剣道錬成大会申込書

- ・小学生の部      ・ 中学生男子の部      ・ 中学生女子の部  
(該当するものを○印で囲むこと)

学校名(団体名)

学校長(責任者)

⑩

住 所 〒

TEL

FAX

	ふりがな 氏 名	学 年	性 別	備 考
監督名				
先 鋒				
次 鋒				
中 堅				
副 将				
大 将				
補 員				
補 員				

平成 30 年      月      日

上記のとおり、参加料(1チーム)5,000円を添えて申し込みます。

(※申込書を同封の上、現金書留にてお申し込みください。)

申込切:平成 30 年 4 月 20 日(金)必着